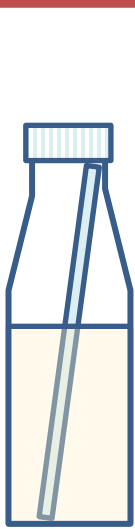


植物プランクトン 珪藻培養図解

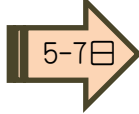
届いたとき



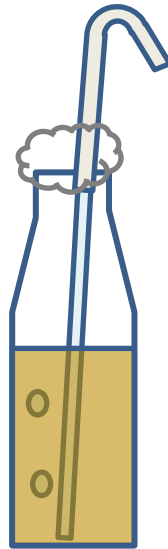
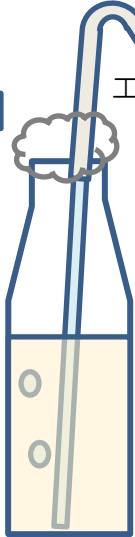
ガラス管をチューブで
エアポンプに繋ぎ、紙
タオルなどで蓋をする

エアポンプへ

培養



珪藻が増えると
ほうじ茶のよう
な色になる



植え継ぎ



5mLを次に植え、
残りは餌として
使用

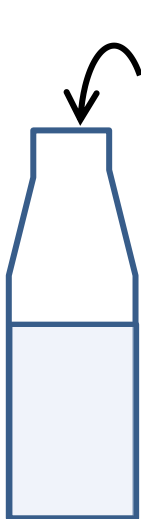
10℃以下だと増えない
25℃以上だと珪藻以外
のアオコなどが増えやすくなる

この辺りでオン
ライン相談会
があります

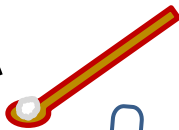
植え継ぎの説明はオンライン
会です。まずは届いた
珪藻種入り培地をポンプでエ
アレーションしながらスタン
ドライトなどの光を当てて、珪藻を
増やしてください

新しい培地の準備

メタケイ酸ナトリウム
耳かき一杯分



人工海水300mL



KW21
同封ピペット
メモリまで
(0.3 mL)



80℃
20分間
滅菌

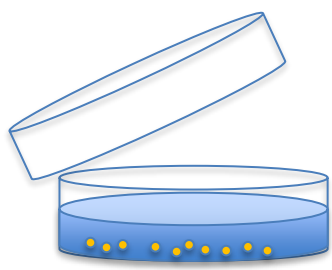
沸騰させると海
水の成分が変質
してしまうので
80℃で

前の培地から
5mLを植え継ぎ、
新たな培養開始

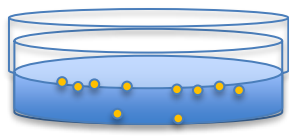


ガラス管の代わりに
ストローも使える

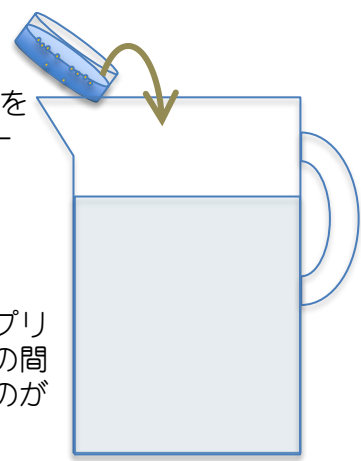
動物プランクトン ウニ幼生3Lビーカー回転飼育図解



底一層に卵を入れた状態のシャーレで受精を行った場合、そこから発生した胚がちょうど3Lビーカー1つぶんくらい

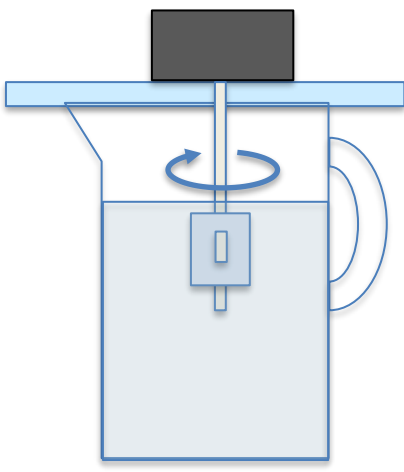


孵化した胞胚は水面に集まり、発生が上手く行かなかった卵はシャーレの底に残る



上澄みだけを3Lビーカーに移す

原腸胚からプリズム期までの間に移動するのがおススメ



飼育装置で飼育
餌やりは2日に1回
珪藻を20 mL

水替え2パターン

水替えは基本的には週一回

高い密度で飼い始めた場合…

中身を半分捨てる

新しい海水を足して水替え完了

普通の密度の場合
マニュアル4ページのように水替え

全体を水替え用のビーカーに移し、メッシュ付きボトルを使って海水を捨てる

きれいに洗った元のビーカーに幼生を戻し、捨てた分と同じ量の新しい海水を足す